

令和4年度 事業報告書

- 1, 大阪府「大阪健康安全基盤研究所」植栽一式
研究所の増築に伴い中央大通りに面した北側は、既存のクスの木を生かして緑地帯の整備を行い、増築棟周辺の植樹は隣地からの視線を遮る効果を得た。(9,460千円)
 - 2, 大阪府「環境農林水産総合研究所」植栽一式
所内の桜がクビアカツヤカミキリムシの被害を受け伐採をしたため、近隣住民に所内を開放して桜の鑑賞を提供していたが不可能となっている。併せて松の老朽化により枝折れ倒木の危険があるため伐採をし、跡地に桜の植樹をした。(7,440千円)
 - 3, 大阪府「万博記念公園東の広場」植栽一式
大阪万博から50年を経過し、ソメイヨシノが寿命を迎えようとしている。東大路から太陽の塔に至るまでは桜の人気スポットだが枯れ死が始まっており、時間をかけて世代交代を図るべく、ソメイヨシノの植樹を行った。(4,730千円)
 - 4, 大阪府「長野公園」植栽一式
金剛山麓に5か所に分かれた長野公園は、それぞれがさくら、もみじ、あじさいなど特徴を持たせた公園になっている。令和3年度には当事業団がアジサイの再生を行ったが、今年は延命寺地区の秋を充実させるため、もみじ、ミツマタ、ヒガンバナを植えた。(4,180千円)
 - 5, 大阪府「蜻蛉池公園」植栽一式
蜻蛉池公園内にある花木園は丘陵地を生かして様々な花木が植栽され、季節を問わず来園者の目を楽しませている。このエリアを見渡せる大きな斜面400㎡にユキヤナギを植栽して景観整備を行った。(2,860千円)
 - 6, 大阪府「住吉公園」植栽一式
海側から住吉大社に向かう参道塩掛道の両サイドはセンダンの木が迎えてくれる。しかし明治6年に公園に指定された大阪府で最も古い公園のセンダンが老化し、枝ぶりも悪く緑が減ってきている。そのため松を補植して公園の魅力を向上させた。(2,090千円)
- 1—
- 7, 交野市「天野川緑地」植栽一式
交野市では天野川の河川敷を利用した1.6kmにわたる緑道公園があり、健康遊具や大型複合遊具、トイレ等の設備を配置して、子供からお年寄りまで多くの市民に利用されている。市制50周年を迎え緑道公園の再整備を行い、桜の名所を目指してジンダイアケボノを植樹した(3年計画の2年目)。(10,130千円)
 - 8, 交野市「星田駅北中央線」植栽一式
学研都市線星田駅の北側に隣接する東部大阪都市計画事業において、新設する全幅16メートルのメイン道路の歩道に街路樹を植える。居住施設や沿道サービス施設を誘致し、府民に開かれたにぎわいある歩道緑陰空間を創出した(2年計画の2年目)。(9,600千円)
 - 9, 吹田市「江坂公園」植栽一式
地下鉄江坂駅の東側に位置する江坂地域の中心部にある江坂公園の並木の再生を行った。開設から50年が経過し、ポプラ並木のポプラが台風で傷み、枝折れ、枯損が目立っている

の間にオタフクナンテンを植えて彩のある環境にした。 (2,650千円)

20、大阪市「長吉六反中学校」植栽一式
ブロック塀を撤去し、グラウンドの整備に伴い、八尾市と隣接する府道300メートルの校庭周辺を
レッドロビンで囲って景観を整えた。 (5,050千円)

21、大阪市「東淀中学校」植栽一式
校舎の改築を終え、工事中に伐採し -3- いるため、多くの植樹をしたことで
学内に潤いを取り戻した。 (6,580千円)

22、「大阪公立大」植栽一式
経済学部棟西側のJRと隣接する部分の植栽が線路に懸かったため伐採したところ
騒音がひどくなり、あらためてモッコク、ハナミズキなど29本を植えることで藪
に埋もれて鬱蒼とした一角の美観を取り戻した。 (2,420千円)

23、「うめきた」植栽一式
まち全体がみどりに包まれたうめきた2期地区の都市景観にふさわしい道路景観を
生み出すため、高規格の街路樹を植栽するとともに、連続植栽帯による緑化を基本と
し、街開き時から豊かな緑を市民に提供する(工事は継続中)。 (100,000千円)

※大阪府「にぎわいの森事業(大阪城港)」は翌年度に延期。

以上総合計 203,595千円